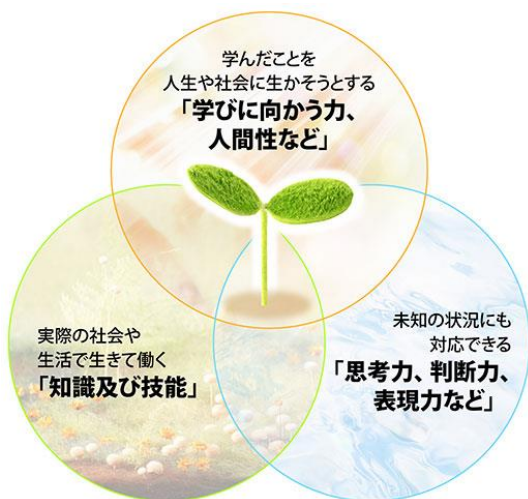




主体的に学習に取り組む態度

校長 嶋見 靖之



校庭のツツジが満開です。中庭で栽培しているジャガイモなどの野菜にも花が咲きました。5月から6月初めにかけて行われた市内体育大会、先週行った定期テスト、可憐な花が頑張る両中生を応援しています。

さて中学校では、新学習指導要領完全実施に伴い、左図にある「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの資

質能力を育てています。学期末に家庭へ配布する通知表では、具体的に「知識・技能を習得できたか（知識・技能）」「習得した知識・技能を活用できたか（思考・判断・表現）」そして「めあてをもって粘り強く取り組み、振り返ろうとしたか（主体的に学習に取り組む態度）」の3つの点について学習の様子を伝えます。

特に主体的に学習に取り組む態度は、めあてをもって、試行錯誤しながらも粘り強く学習に取り組む、取組や学んだことを振り返ろうとする様子を伝える項目です。

独立研究者で作家の山口周氏は著書「ニュータイプの時代」（ダイヤモンド社）の中で、スタンフォード大学のジョン・クランボルツの研究を紹介しています。その中で、成功した人たちのキャリア形成のきっかけは80%が「偶然」であるということを示しています。そして、キャリア形成につながるような「いい偶然」を引き起こすためのポイントとして「好奇心」、「粘り強さ」、「柔軟性」、「楽観性」、「リスクテイク」を挙げています。これらのことは、主体的に学習に取り組む態度の具体の姿につながります。変化の激しい未踏の時代を生き抜くために「学びに向かう力、人間性」は不可欠な資質能力です。